



平成 19 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 ノ ジ マ
代表者名 代表執行役会長 野島 廣司
代表執行役社長 三枝 達実
(J A S D A Q ・ コード 7 4 1 9)
問合せ先
役職・氏名 取締役 兼 執行役
財務経理本部長 庄司 友彦
電話 0 5 0 - 3 1 1 6 - 1 2 1 2
0 7 0 - 5 4 6 1 - 5 6 0 4

平成 1 9 年 3 月 期 (単 独 ・ 連 結) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想について、平成18年11月8日付当社「平成19年3月期(単独・連結)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 1 9 年 3 月 期 単 独 業 績 予 想 の 修 正 等

(1) 通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想(A)	98,400	1,800	720
今回修正(B)	93,800	1,650	1,250
増減額(B-A)	▲4,600	▲150	530
増減率(%)	▲4.7	▲8.3	73.6
前年実績(参考)	95,342	2,338	1,298

(2) 修正理由

売上高、収益の状況につきまして、薄型テレビを中心としたデジタルAV機器が伸びをしましたが、価格競争による単価の下落が進み、売上高・収益への影響は限定的なものとなりました。又、パソコン本体につきましては、WINDOWS VISTAの発売前であることが影響し、

数量的、価格的に厳しい状況が継続して続いております。更に、暖冬の影響で季節関連用品の販売も低調に推移いたしました。

しかしながら、当社は平成19年3月1日を期して株式会社真電（東証2部・コード9911）と合併いたしますが、その際に、逆のれんの償却（約12億円）が営業外収益に発生したため、当期純利益の業績予想の修正に至りました。

以上を踏まえた結果、売上高93,800百万円（当初予想比：4,600百万円の減少）、経常利益1,650百万円（当初予想比：150百万円の減少）、当期純利益1,250百万円（当初予想比：530百万円の増加）となる見込みであります。

2. 平成19年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	129,000	2,300	920
今回修正（B）	128,000	2,300	1,650
増減額（B－A）	▲1,000	－	730
増減率	▲0.8	－	79.3
前年実績（参考）	118,012	3,080	1,608

(2) 修正理由

通期の連結の業績見通しにつきましては、上記単独業績の修正理由に加えまして、当社連結子会社のうち、通信携帯部門は増収・増益となりましたが、eコマース部門を担うイーネット・ジャパンと、音楽CD、DVD部門を担うWAVEの業績不振の影響により一部相殺されることとなりました。

又、上記単独業績の修正理由に記載のとおり、株式会社真電との合併に伴う逆のれんの償却（約12億円）が発生し、当期純利益の業績予想の修正に至りました。

以上を踏まえた結果、売上高、経常利益、中間純利益は、それぞれ128,000百万円（当初予想比：1,000百万円の減少）、2,300百万円（当初予想比：変わらず）、1,650百万円（当初予想比：730百万円の増加）となる見込みであります。

3. ご参考：前期の実績（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（前年単独業績の実績）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期（4/1～3/31）	95,342	2,338	1,298

（前年連結業績の実績）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期（4/1～3/31）	118,012	3,080	1,608

尚、業績予想につきましては、現在当社が入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以 上